

令和4年7月11日

学 生 各 位

鳴門教育大学長
佐 古 秀 一

新型コロナウイルス感染状況下における学生の海外渡航について（通知）

新型コロナウイルス感染症について、海外での感染状況は、依然として警戒が必要な状況であり、本学における学生の海外渡航については、「【重要】新型コロナウイルス感染症対策に係る基本方針について（第23報）（4月15日更新）」に基づき、原則禁止としています。不要不急の海外渡航は自粛してください。

一方で、入国制限措置や行動制限措置等があるものの、国際的な人の往来を再開している国もあります。こうした中で、学生の海外渡航可否については、一律に不可とするのではなく、「（1）渡航の判断」のとおり、外務省海外安全情報・感染症危険情報をもとに、渡航目的、渡航する国・地域の医療水準、航空機の運航状況を踏まえ、個別に判断し、加えて、「（2）遵守事項」の条件を全て満たす場合、渡航を許可します。

（1）渡航の判断（レベルに関しては「外務省海外安全HP」を確認してください。）

① レベル1に指定される国・地域への渡航

不要不急ではない目的^(※)で渡航を希望する場合、原則渡航1か月前までに、指導教員（担任）を通じて申請し、学長が判断する。

（※）教育研究等において、渡航しなければ目的を達成できない場合（②ア～カ含む。）

② レベル2に指定される国・地域への渡航

原則として渡航は認めない。ただし、以下ア～カに該当する渡航である場合、原則渡航1か月前までに指導教員（担任）を通じて申請し、学長が判断する。

ア. JICAの許可を得て、JICA長期研修員が母国で調査研究を行う場合。

イ. 大学間交流協定に基づく海外留学の場合。

ウ. 担当教員が同行する本学グローバル教員養成プログラムに参加する場合。

エ. 国及び公的機関が実施する派遣プログラム等で派遣される場合。

オ. 外国政府からの招聘等、国又は公的機関の代表として派遣される場合。

カ. その他やむを得ない事情により、一時帰国する場合

③ レベル3に指定される国・地域への渡航

原則として渡航は認めない。ただし、以下ア～イに該当する渡航である場合、原則渡航1か月前までに指導教員（担任）を通じて申請し、学長が判断する。

ア. JICAの許可を得て、JICA長期研修員が母国で調査研究を行う場合。

イ. その他やむを得ない事情により、一時帰国する場合

④ レベル4に指定されている国・地域

いかなる理由があっても、渡航は認めない。

※ 外務省の感染症危険情報については、外務省海外安全ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関する緊急情報」で最新の情報を確認すること。
(<https://www.anzen.mofa.go.jp/>)

(2) 遵守事項

以下の全てを満たす（誓約する）ことを条件に海外渡航を許可する。

- ・ 派遣について保護者（家族）の同意があること。
- ・ 渡航先の機関等が受入れを認めること。
- ・ 外務省海外安全情報無料配信サービス「たびレジ」「在留届」に登録すること。
(たびレジ <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>)
- ・ 渡航先（中継地を含む。）の入国制限措置及び入国に際しての条件・行動制限措置について確認し、それを遵守すること。また、日本への帰国に際しては、政府の方針に従って行動すること。
- ・ 滞在先を明らかにすること。
- ・ 家族、指導教員及び学生課へ定期的（目安として1か月毎）に連絡すること。
- ・ 全渡航期間を対象とする旅行保険（治療費用、救援費用、賠償責任、携行品損害等）に加入すること。
- ・ 渡航中に新型コロナウイルス感染症に感染し、それに伴う隔離、入院等が発生した場合、隔離や治療に係る費用については自ら負担できるよう準備すること。
- ・ 渡航前に、新型コロナワクチンの接種を強く推奨する。
- ・ 渡航に際し、事前に医師等の健康チェックを受けることを推奨する。また、既往症がある場合は、主治医の同意を事前に得ておくこと。
- ・ 渡航先での健康管理については、自己責任であることを十分理解し、感染防止のための対策（人混みを避ける、マスクを着用する、石けんを使用した手洗い等）を取ること。
- ・ 出入国時に課される待機期間を考慮して、日程を検討すること。
- ・ 渡航先の感染状況の悪化等が生じた場合、大学の指示に従うこと。（例：帰国勧告など。）
- ・ 上記以外の事項で疑義が生じた場合又は上記に定めのない事項については、大学の指示に従うこと。

付属書

【参加者情報】※パスポートのコピーを添付してください。

学籍番号	所属	学年	年
フリガナ			
氏名	生年月日	年 月 日	性別 男・女
現住所	〒		
電話番号	E-Mail		
指導教員 氏名(署名)			
身長	cm	旅券	有(旅券番号)・無

【渡航先情報】

国・地域名	海外安全情報	レベル	たびレジ・在留届 への登録	<input type="checkbox"/> 済
	感染症危険情報	レベル		<input type="checkbox"/> 未
国・地域名 (経由地)	海外安全情報	レベル		
	感染症危険情報	レベル		
派遣機関等	住所			
電話番号	E-Mail			
派遣元 (担当者名)	(担当者)	住所		
電話番号	E-Mail			

【国内緊急連絡先】※一人は誓約事項に記載する保証人としてください。

①	フリガナ	続柄	電話番号
	氏名	住所	〒
②	フリガナ	続柄	電話番号
	氏名	住所	〒

→裏面につづく

【健康状態の申告】

健康についてお聞きします。以下の質問にお答えください。

① 現在日常的に服用している医薬品はありますか？	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある (薬品名:)
② ①で「ある」と答えた方に質問します。それらは何のためですか？	理由	
③ それらは海外渡航中にも持参しますか？	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
また、期間中もその薬を服用しますか？	<input type="checkbox"/> はい (頻度:)	<input type="checkbox"/> いいえ
④ 現在、あるいは過去に、海外渡航に大きな影響を与える可能性のあるような病気をしていますか？ ある場合は、詳しく教えてください。		
⑤ 健康に自信がありますか？ ない場合は、できるだけ詳しく教えてください。	<input type="checkbox"/> ある	<input type="checkbox"/> ない ()
⑥ 健康に問題がある方にお伺いします。それを前提で保証人(親など)は海外渡航について同意されていますか？	<input type="checkbox"/> 了解している	<input type="checkbox"/> 了解していない (理由:)
⑦ 健康に問題がある方にお伺いします。それを前提で主治医は海外渡航について同意を得ていますか？	<input type="checkbox"/> 了解している	<input type="checkbox"/> 了解していない (理由:)
⑧ 新型コロナウイルスワクチンの接種状況について教えてください。 ワクチン接種証明書を持っている場合は写しを添付してください。	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある (回数 (最終接種日))
⑨ その他、健康に関する重要な事項(アレルギー等を含む)があれば何でも書いてください。		

※上記の情報は鳴門教育大学が責任を持って保持管理し、必要とされる関係者以外には見せません。

【誓約事項】

私及びその保証人は、 年 月 日から 年 月 日までの海外渡航にあたって、以下のことを誓約します。

- ① 私は別紙「海外申請書」及び「付属書(本紙)」の記載事項に相違のないことを確認しました。
- ② 海外渡航が許可された際には、勉学等に専念すること、本学の信用を傷つける、又は不名誉となるような行為をしないこと、滞在国の諸法令を守り、これに違反することはしません。
- ③ 不測の事故などが起きた場合、自己責任の原則のもと、私の死亡、負傷、罹病、減失、損害などが発生した場合、私と保証人が責任を負います。その場合の費用や損害は、派遣前に本人が加入する海外留学保険又は海外旅行傷害保険などで賄うものとします。

参加者本人署名		
保証人の署名	(続柄)	
誓約年月日	年	月 日